

ご参加を頂きました皆様
関係者各位

REACTA Forum 2023 は皆様のお陰をもちまして2日間に渡り無事開催することができましたこと、感謝申し上げます。開催にあたり多くの皆様に多大なご協力をいただくとともに、REACTA Forum 2023 に御参加いただきありがとうございます。

今回のフォーラムは、「新時代の臨床研究のあり方」をテーマとして、多くの演者の方にお話をいただきました。ポストコロナにおいて、日本ではワクチン開発を速やかに進める必要性が明確になりました。これに関連して、PMDA のさまざまな新しい取り組みを伺うとともに、私ども千葉大学も企業や規制当局と連携して開発を進めるという役割を担うこととなりました。PMDA の藤原康弘理事長及び千葉大学未来粘膜ワクチン研究開発シナジー拠点長清野宏先生にはご講演をいただき感謝申し上げます。

また、アカデミア、企業、規制当局それぞれ異なる経験を経て、DCT や RBA をはじめとする変革が必要となったコロナ後の世界でどう対応していったらいいのか、話しを伺うことができました。きっと、ご参加いただきました皆様には、次へ何をチャレンジしたらいいのか、どのように連携したらいいのか、どうしたら寛容な世界へと導けるのかなどと考えながらそれぞれの日常に戻っていただきたいと思います。

次回は、2025年5月にマレーシアで開催となります。ぜひ、REACTA Forum 2025 で皆様と再会できればと思います。最後に、今回のフォーラムはとても素晴らしい会となり、開催にあたり協力をいただきました皆様本当にありがとうございます。REACTA のボードメンバーの皆様、スピーカー、座長の皆様、臨床試験部のスタッフの皆様、全ての皆様に感謝申し上げます。REACTA Forum 2023 はこれを持って終了です。

2023.11.21

Chair of REACTA Forum 2023

花岡英紀

千葉大学医学部附属病院臨床試験部長・教授